



担い手と  
ともに

## やる気のある若手が数多く集まり、 今後への期待が膨らむ徳島県のアボカド栽培

日本の平均気温は年々上昇しており、このまま推移すると2050年には現在より2℃以上高くなると想定されます。これにともない、従来の果樹栽培の適地が北にシフトし、西南暖地では、落葉果樹はもとより常緑果樹もつくりにくくなると考えられます。

温暖化に対応した果樹栽培の実現に向けて、徳島県でも従来の品種より耐暑性が高い品種の開発・普及・更新が必要になってくるとともに、栽培可能な熱帯、亜熱帯果樹の新規導入が求められます。

### 研究熱心な若手生産者を協力支援

JA全農とくしまでは、栄養価が高く需要が増加しているアボカドの導入が温暖化への対応の一助になるのではないかと考えました。現状、ほとんどが輸入もので先進事例が乏しいアボカド栽培をどのようにして導入していくか思案しているときに、アボカドを熱心に研究する2名の若手生産者に出会いました。彼らは「菜々屋アボカド研究会（以下、研究会という）」を立ち上げ、仲間を増やし振興しようとしていたため、協力支援していくことになりました。研究会のメンバーに対して、徳島県やJAと連携し、試験を通じてアボカドの苗木や生産資材購入の補助、生育管理の指導・支援を行いました。

アボカドは、低温や乾湿に弱く、根が浅いため風に弱い、収量が安定しない、登録のある防除薬剤が極めて少ないなど、多くの問題があります。そのため、JA全農とくしまでは、苗木の管理、植え付け、病害虫防除、整枝剪定などの指導・支援を行うとともに、研究会のメンバーを集めて定期的に勉強会を開催し、県関係者、JA関係者も交えて栽培管理技術の情報交換や意識の向上を図りました。また、出荷・販売については、研究会メンバー、県関係者とともに、出荷規格を協議し、関東市場への販路を開拓しました。

生育・病害虫発生状況を研究会メンバーと関係者が共有



### メンバー25名、栽培面積約1.4ha

研究会のメンバーは現在25名で、アボカドの栽培面積は苗木の総購入本数から計算すると約1.4haになりました。多くが若手の生産者で、意欲的かつ研究熱心であり、今後の発展が大いに期待されます。まだ生産量はごくわずかですが、出荷規格を決め、安定生産・出荷の礎を確立したところです。

やる気のある若手生産者が数多く集まり、技術や意見を交換し切磋琢磨することで生産技術が向上し、生産者としても人間的に成長していく。この素晴らしい取り組みに今後の発展・展開が大いに期待されます。

【JA全農とくしま 営農資材部 営農支援課】



関係者の総意で決めた出荷規格で箱詰めしたアボカド

栽培基礎講座／たまねぎの生理生態と栽培	2
栽培技術セミナー／碾茶と蒸し製玉緑茶の交互生産の有効性を探る	4
栽培技術セミナー／「ハトムギ高度利用マニュアル」の紹介	6
施肥技術セミナー／大麦、大豆栽培への混合堆肥複合肥料の利活用	8
防除技術セミナー／子実トウモロコシのアワノメイガ防除対策	10
新技術セミナー／水稲の高温対策	12
JAと連携した農業普及活動	
津山産小麦「せときらら」の品質向上とマーケティングの推進	14
届け！全農の取り組み／農業は正しく使って人も作物も安全に！	16
太鼓判 おすすめ品種紹介 第46回／たまねぎ	18

商品ガイド／新しい水稲用中後期除草剤「レプラスギア®」	20
商品ガイド／農POフィルム「クリンテートLXガード」	21
インフォメーション／農業用自動車のリスクとJAの自動車共済で備える安心	22
担い手とともに／やる気のある若手が数多く集まり、 今後への期待が膨らむ徳島県のアボカド栽培	24

#### 6月号読者アンケートのお願い

よりよい誌面づくりのために、皆さまの声をお寄せください。

回答締切：令和7年6月30日（月）

回答方法：二次元コードもしくはURLから

URL：https://forms.office.com/r/eJaR3bEnRn

